

# 広汎性発達障害を科学する 研究者 会議

ガチ!

Scientific Forum for Autism Spectrum Disorder

日時: 2013年2月16日(土) 9:55~18:55

会場: 石川県 金沢市 しいのき迎賓館 (最大収容120席)

目的: 広汎性発達障害について、その多様性を踏まえた疾患理解が促進されるように、“ガチ!” 討論会を開催します。(会長: 金沢大学子どものこころの発達研究センター長: 三邊義雄教授)

対象者: 誰でも参加してください。(参加費無料・事前登録不要)

## セッション1 (AM10:00-PM0:10)、広汎性発達障害の多様性を考える

金沢大学: 菊知 充 特任准教授 (幼児期からの能力的な多様性)

福井大学: 小坂浩隆 特命准教授 (自閉症者のコミュニケーションに関わる脳血流研究)

浜松医科大学: 鈴木勝昭 准教授 (脳内ホルモンからみた多様性)

東京大学: 山末英典 准教授 (遺伝子多型と脳機能の多様性)

## セッション2 (PM1:00-3:00) 科学者と市民との交流

特別講演1 (PM1:00 ~): モントリオール大学: Prof. Laurent Mottron (逐次通訳あり)



(主な内容) 自閉症の特徴として、視覚および聴覚的な情報処理能力が優れていることがあります。これらの特徴から、強化知覚機能モデルという概念にたどり着きました。言語発達との関連があることが最近判ってきました。研究者は自閉症の優れた点について、もっと着目していくべきです。



一般講演 (PM2:00 ~): 金沢大学子どものこころの発達研究センター: 東田陽博特任教授

「父親マウスの(子どもの移動運搬)子育て行動は母親との干渉的交流により誘発される」

一般講演 (PM2:30 ~): 金沢市教育プラザ富樫総括施設長: 越田理恵先生 (小児科医)

「子どもの育ちを応援するサポートシステム~ひとりでも悩まないで~」

## セッション3 (PM3:10-PM5:50) MEGの応用拡大の可能性

一般講演: 大阪大学: 石井良平 講師 (広汎性発達障害者のミラーニューロンを捉える)

特別講演2 (英語): Aalto University: Dr. Elina Pihko (幼児へのMEGの応用)

特別講演3 (英語): Macquarie University: Prof. Stephen Crain (幼児用MEG: 現状と今後の展望)

学術ポスター発表: 国立精神・神経医療研究センター、大阪大学、金沢大学、横河電機株式会社より多数展示

障害者雇用支援原画、石川県原画優秀賞受賞者である細川陽平さんの絵画作成工程の紹介ポスター(下写真はアトリエです)

意見交換会: 当会場(しいのき迎賓館2F)

19時より。有料: 5千円(事前登録が望ましい)

主催: 金沢大学戦略的研究推進プログラム

共催: 文部科学省 脳科学研究戦略推進プログラム

金沢大学拠点・東田グループ

ほくりく健康創造クラスター

会長: 金沢大学子どものこころの発達研究センター: 三邊義雄教授

事務局(菊知・小澤): (お問い合わせ・意見交換会の申し込み)

mozawa@med.kanazawa-u.ac.jp

